

人 輝く・安芸高田

あきたかた



議会だより

第3号

2004(平成16)年
11月10日発行

高宮

Takamiya
リージャス クレスト
ゴルフクラブ



吉田
Yoshida
サッカー公園



主 な 内 容

第3回(9月)定例会

補正予算等	2・3ページ	8月臨時会	15ページ
水道事業決算	4ページ	10月臨時会	16ページ
意見書	5ページ	傍聴記	17ページ
一般質問	6ページ	トピックス	18ページ

AKITAKATA

第2庁舎と文化ホールとの複合が 安芸高田市総合計画審議会を 設置へ

安芸高田市第3回定例会は9月17日～9月30日までの14日間を会期として開かれた。
一般会計補正予算、議員の報酬を定めた条例の一部改正など15議案、発議案3件、水道事業決算3件をそれぞれ原案どおり可決して閉会した。
市長は行政報告で、第2庁舎建設に触れ、建設場所は現吉田公民館の跡地とする案を示した。第2庁舎と文化ホールの複合施設とする方向だが、具体的にはこれからの検討事項であるとしている。
一般会計については、20名の議員が市政を問うた。

正算 補算

一般会計

歳入・歳出それぞれ二億一〇〇万円を追加し、総額を二五九億八、七〇〇万円とするもの。

《主な歳入》
繰越金
一億六、七〇〇万円

主な議決事項は次のとおりです。

○安芸高田市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
主な改正点は「別表」のとおりです。

【別表】

	現 行		改 正 後	
	月 額	期末手当(年間)	月 額	期末手当(年間)
議 長	288,000円	1,092,962円	410,000円	2,164,802円
副 議 長	230,000円	872,852円	355,000円	1,874,402円
議 員	217,000円	823,517円	325,000円	1,716,002円

平成16年12月1日より施行



高宮若者定住住宅(高宮町)

○安芸高田市総合計画審議会
総論
総合計画に関し、市長の諮問する事項を調査・審議するため、安芸高田市総合計画審議会を置くものです。
委員25名をもって組織し、委員は次の各号に掲げるものうちから市長が委嘱します。

- ①市民の代表
- ②学識経験者
- ③市議会議員
- ④関係行政機関等の職員

特別会計

《国保会計》

一億二、一〇〇万円を追加し、総額を三億三、一〇六万円とするもので、歳入の大部分の一億一、四七七万円は繰越金。歳出の大部分は一億一、三三六万円を予備費としている。

《公共下水道事業会計》

七八一万円を追加し、総額を五億三、五六八万円とする。

《特定環境保全公共下水道事業会計》

一、五七一万円を追加し、総額を九億三七一万円とする。

《簡易水道事業会計》

七九八万円を追加し、総額を一億八、九六四万円とする。

《飲料水供給事業会計》

五八万円を追加し、総額を七一九万円とする。

《浄化槽整備事業会計》

五六五万円を追加し、総額を三億四、六八二万円とする。



特定環境保全公共下水道事業予定地(八千代町)



虹のマンション(高宮町)

市長は①に掲げる委員については、各界・各層の幅広い分野から選任すると表明している。
次の議案はいずれも、暴力団員の居住の排除及び過疎地域活性化対策として、新市において改めて条例化されたもので、全議員賛成で可決されました。

○安芸高田市営住宅条例の一部を改正する条例
○安芸高田市高宮若者定住化推進に関する条例
○安芸高田市営住宅の管理条例

○安芸高田市高宮若者用マンション「虹のマンション」設置条例

平成15年度

水道事業決算を認定

未収金・滞納金の 徴収事務の強化に 市税等滞納整理対策本部を設置

定例会初日に認定3件が上程された。これは、旧吉田町水道事業会計決算、旧甲田町水道事業会計決算、安芸高田市水道事業会計決算の認定を求める案件である。平成16年3月1日6町合併によって、旧町での事業期間は11ヶ月と合併後、安

芸高田市での事業期間の1ヶ月間の各事業会計を建設常任委員会で、内容審査を行った。定例会最終日において、天清委員長より、この案件は認定すべきとの報告があり、議会はこれを受け、この案件は認定すると議決した。

安芸高田市での1ヶ月間の会計決算は、事業収入九一四万円、事業経費二、四三四万円、損失額一、五一九万円、未収金額二、〇七九万円。

この決算数字は合併によって変動的な会計決算のため、損失額が大きくなっている。また、未収金は決算後に大部分は納入される予定。

なお、吉田町水道事業会計決算は、二、九八六万円の純利益であり、甲田町水道事業会計決算は、損失七万円となっている。ただし、事業期間は11ヶ月である。



平成15年度水道事業決算審議

委員長報告

質疑の集中は、未収金、滞納金の問題で、これを解消するための徴収事務強化等、十分に検討し、収納率の向上に努められるよう強く求めた。執行部は、増元助役を本部長とし、7月に設置した安芸高田市市税等滞納整理対

策本部を中心として鋭意、徴収努力している。また、法的手続きも視野に入れての取り組みも考え推進しており、その答弁であった。これを受け、審議を尽くし、討論、採決を行った結果、いずれも原案どおり認定すべきものと決定いたしました。



小原浄水場(甲田町)

小泉首相に

安芸高田市の

声を!

9月定例会に提出された意見書は3件で、すべて採択されました。

郵政公社の経営形態堅持に関する意見書(要旨)

〔提出先〕

内閣総理大臣・総務大臣・金融担当大臣ほか

郵政事業民営化反対

平成19年4月に郵政事業の民営化が予定されており、万一実施されるならば、不採算の郵便局は閉鎖され、地方の切り捨てにつながることも、郵便の全国均一料金制など、ユニバーサルサービスの提供が行われなくなり、ますます。

現在、郵便局職員は、本来の業務以外に高齢者の安否確認や道路の破損状況、災害等の情報を提供し、地域住民に安心感を与えています。合併が進められる中で、過疎化・高齢化に郵便局が地域社会に果たしている役割は非常に大きく、これから



川根郵便局(高宮町)

地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書(要旨)

〔提出先〕

内閣総理大臣・内閣官房長官・財務大臣ほか

国は地方を守る義務がある

平成16年における国の予算編成は、「三位一体の改革」の名のもとに、本来あるべき国・地方を通ずる構造改革とは異なり、国の財政健全化方策に特化されたものと受け取らざるを得ず、著しく地方の信頼関係を損ねる結果となった。

よって国においては、「三位一体の改革」の全体像を早期に明示するとともに、地方6団体がとりまとめた今回の改革と我々地方公共団体の思いを真摯に受け止められ、次の前提条件を十分踏まえ、早期実現を強く求める。

- ① 地方の意見が確実に反映することを担保とするため、国と地方6団体との協議機関を設置すること。
- ② 今回の国庫補助負担金改革のみを優先させることなく、これに伴う税源移譲、地方交付税措置を一体的、同時に実施すること。
- ③ 税源移譲額が国庫補助負担金廃止に伴い、財源措置すべき額に満たない地方公共団体については、地方交付税により確実な財源措置を行うこと。また、地方交付税の財源調整、財源保障の

両機能を強化するとともに、地方財政全体及び個々の地方公共団体に係る地方交付税の所要額を必ず確保すること。

有料老人ホーム等特定施設入所者生活介護への住所地利例の適用など介護保険制度の改善を求める意見書(要旨)

〔提出先〕

内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆参両議院議長ほか

「チョットマッタ」有料老人ホーム建設

豊かな自然環境の中で老後の生活を過ごしたいと大規模な有料老人ホームの建設が安芸高田市に計画されています。入居者は、他市町村からの転入者が大多数と想定され、安芸高田市民の介護保険料を高騰させ、介護保険事業計画の推進に支障をきたす事態が予想されます。

よって、住所地利例の拡充や市町村の各事業計画に沿った事業者指導の権限など、制度の一層の改善を求めるものです。

※住所地利例とは

特別養護老人ホームなどの福祉施設へ入所するため、住所を施設のある市町村に移す場合、福祉施設が集中する市町村の保険財政を圧迫させないため、国民健康・老人・介護保険など移す前の市町村で負担を継続するというものです。

今こそ! 住民パワーで地域振興を!

話し合い、課題解決を

一般質問

甲田会派



竹田 誠荘
議員

Q 地籍調査の進行状況は。

A 八千代町・向原町は完了しています。現在、高宮町・美土里町で進めております。山林部の実施率は、甲田町37.6%、吉田町60%、美土里町

13.2%、高宮町60.8%。今後は、第5次国土調査10ヵ年計画で12年度に策定変更したものを樹立していく方法しかありません。課税は地籍調査が完了してからになります。

Q 吉田・甲田柳原線の防犯灯設置を。市の道路照明は、全市の問題であり、県の設置基準等を参考に、検討していきます。

A 遅れている生活道路の整備は。旧吉田町・向原町・美土里町・高宮町では生活道路舗装事業の交付要綱があったが、

Q 甲立駅のバリアフリー化を。平成12年5月のバリアフリー法施行に基づき、本市としても芸術線対策協議会等を通して、早期実現に向けて、現在JR西日本

Q 生活弱者対策、その後の検討、実施時期を伺う。
A 7月に生活交通確保対策推進関係課会議を設置し、来年2月に生活交通の確保対策基本方針、更に辺地の具体的な交通手段確保等の方向性を定めたいと思います。

Q 甲田町小原地区に駐在所が必要では。広島県警と十分連携をとり、パトカー巡回等対応します。



平岡 正美
議員

へ強く要望しています。

Q 支所業務管理課の人員配置の見直しを問う。
A 5ヶ月間の実績をもとに事務執行を通し、職員の削減を含め、行政効率の良い組織づくりに努めていきたいと思っています。

Q 米価下落問題、過剰米対策、生産調整非協力者の不公平感の払拭策は。
A 4年後、平成20年には、ほぼ自由化に相当する制度に移行

Q 大土山憩いの森、産廃の疑いに監視、実態調査、今後の対応について伺う。
A 7月中旬、芸北地域事務所環境管理課と協議し、立入り了承を得て、7月14日、県庁産業廃棄物対策室、芸北地域事務所、甲田支所職員等で立入り調査し、業者、地権者を指導した。これまでに2回のパトロールを実施、一部水質調査し、有害物質は見当たらなかった。今後、県と連携を取り、情報交換、パトロールを行います。



今村 義照
議員

Q 中高一貫教育について、早期導入と進路の保障、拡大を。

A 一貫校については、一貫した教育方針で生徒を育て、力をつける上で非常に効果的です。子どもの進路希望を叶える教育のあり方のひとつとして、十分研究します。基礎基本を確実に身に付けさせながら、一貫校も考え、十分に検討します。

Q 使用料・手数料等は適正か。

A 受益者負担の原則を基本とし、統一・適正化を図ります。

Q 追加財源の留保策は。

A 予備費として四、二〇〇万円を



高宮中学校・高宮高校付近

計上しています。交付税の動向をみて全体的な歳出の削減を図り確保することも必要だと思います。

Q 公共工事コスト削減策は。

A 生活基盤整備を計画的に実施し、入札執行に決まりをつくり、入札の予定価格の公表のほか職員の意識改革を図ってまいります。

Q 職員の勤務評定と試験による昇格制度の導入を図れないか。

A 現状では組織や事務分掌が不都合な面がある中で、行政サービスを提供していく上で職員の能力や質の向上が求められます。

計画的な研修を実施しているが、人事評価制度、能力開発型の人事管理、研修制度等の

策定は行政改革の一環の中で慎重に取り組んでいます。昇格制度の取り組み



吉村 正登
議員

Q 「地域経済を活性化・環境づくりに役立つ住宅リフォーム」は、市内業者を利用して市民の住宅をリフォームする場合に、工事費などの5%10%を自治体が助成し、市内の地域経済の活性化・居住環境向上を図るものであり、既に57市区町村で創設・実施されている。家具類をはじめ様々な需要も喚起され、数十倍の経済効果をあげており、不況のなか、自治体が率先して、暮らし応援の施策を実施されないか。市長の見解を問う。

A この住宅リフォーム制度は、まだ広島県では実施をされていない制度です。各種の情報を集め、県あるいは市町村の動向など見極めながら、費用対効果なども含めて研究をします。





金行 哲昭 議員

Q 各種団体へ市から補助金が出されているが、事業実績報告が必要と考える。

A 補助金は各団体へ出していますが、基本的には活動を軌道へ

へ乗せていくための補助金であると考えており、事業実績報告は必要です。また、地域振興会への補助金は、交入金という性質で出し、各振興会を軌道へ乗せるため自由に使っております。



オオサンショウウオの住める水辺を 本村川(甲田町) 10・21

Q 市の環境美化条例の具体的な取り組みは。例えば、第13条の川の水质状況を毎年公表するとあるが、どの川を何月に公表しているのか。また、環境マネジメントシステムISO・14001の認証が必要と考えるが。



岡田 正信 議員

A 51カ所程度で水质検査をしております。公表は、今後、統一します。ISOですが、新市建設計画で環境基本計画等も本市としての総合計画の中で計画されると思いますので、行革委員会等も設けられていく中で関係部署に働きかけていきます。

Q 15年度の決算は旧6町の最後の予算であり、安芸高田市の予算であった。それだけに、特徴的なことが含まれている。特に、基金の取り崩しはどうか。

A 旧6町とも、積極的な予算を組んだと見受けられます。14年度と比較すると、各町とも、建設事

業費に投資されています。基金の取り崩しは、九億九、五〇〇万円であり、新市の財政の硬直化の原因になっています。

Q 2回にわたり集金ミスが起きているが、コンピュータソフトの改善で、防止策は。コンピュータのミスではなく、人為



いのしし等の被害防護柵

が、行政指導上に問題があるのか。

Q 新市になって鳥獣駆除体制がうまくいっていないと聞く

A 有害鳥獣の捕獲体制は、合併前から旧6町の猟友会、捕獲班の代表者と協議していますが、組織上、一本化になっていないので、早く捕獲活動が十分できるよう鋭意努力します。



明木 一悦 議員

えます。

Q 自主財源拡大への取り組みは。

A 自主財源の基本は市税です。経済情勢等が非常に厳しい状

況ですが、今後の事業実施は財政的に全部100%年次ごとに行えるのか大きな課題があります。ある程度整理をしながら取り組んでいく必要があると思います。定住対策事業、新規移住者受け入れ事業など、今後、実施していく必要があると考え



積極的に取り組まれる女性参加活動(甲田町)

Q 各種委員会・審議会への若年層や女性の登用の考えは。

A 組織の代表にはたくさんの方がバツクにいます。女性の参画については、今後の大きな目標であり、できるだけ女性の参画を



入本 和男 議員

Q 支所機能の充実を。

A 合併後の経過を踏まえながら、効率



有効利用がもたれる田園パラッツォ(高宮町)

高宮会派



増田 静樹 議員

Q 新市職員の意識の改革とその教育法

A は。職員と住民との対話のなかで学びながら、また能力向上の研修を通して専門的な知識を充分身に付けさせたいと考えています。

Q 各支所の施設利用を。

A 旧町にはいい施設がたくさんあります。今後はいろいろな行事については、現在

ある施設を有効利用していきます。

Q 職員の計画的な削減は。

A 今後、定数計画を策定し、行政サービスの低下を招くことのないように、職員数削減に取り組めます。

中に行うのか。

A 昨年度の決算の認定は、たいへん複雑に及んでおり、在任特例中は無理かと思えます。現時点では、決算統計をしておりますので、その報告をします。

Q 本市未収金の徴収対策本部設置後の現況は。

A 滞納整理の実施計画を作成し、職員が厳しさをもって不返転の心意気で取り組みます。

Q 新市における教育方針の一端を。

A 平成15年3月に策定した「新教育戦略21未来に輝く安芸高田の教育」を柱とし、「知・徳・体」を三原則に地域の皆さんとの連携を密にしながら、安芸高田市の教育に全力を傾注します。



秋田 雅朝 議員

Q 学校評価制度の取り組みと成果は。研究校の指定を受け、先導的取り組みをして効果は十分にあったと考えております。

A 学校においては、資質の向上を図るために、内部評価や外部評価をもとに本来のねらいに沿って学校評価がなされていると考えております。

Q 学校評価をホームページや、PTA総会等で公表して、説明責任を果たしております。

Q 中高一貫校推進の考えは。
A 本市では、連携一貫校が考えられます。

Q 教育委員会としては、子どもを行かせて



建設中の高宮堆肥センター(高宮町)

よかった、来てよかったと思える学校を目指し、市民の願いと期待に添えるよう、小中学校校長会連合会等で十分検討を重ねるとともに、高等学校にも伝えて連携を図りたいと思います。

Q 家畜排泄物の管理の適正化及び利用促進に関する法律の管理基準による畜産農家への適正指導は。
A 地域事務所との連携を取りながら進めます。

Q 今後の本市における堆肥センターの有効利用の指導方針は。
A 消費者が一番望むものが安全安心。

次いで有機栽培です。堆肥については、施設の連携の体制づくりを有効的な活用のために

八千代会派



浮田 洋吾 議員

Q 地域福祉の充実とボランティアの育成について。
A 議員ご指摘のように、まちづくりの根幹をなすものは、ボランティア活動にあると考えます。

現在、社会福祉事務所が把握しておりますボランティアの人数は、71グループ1345人です。

今後、福祉サービスの充実、福祉のまちづくりを積極的に推進す



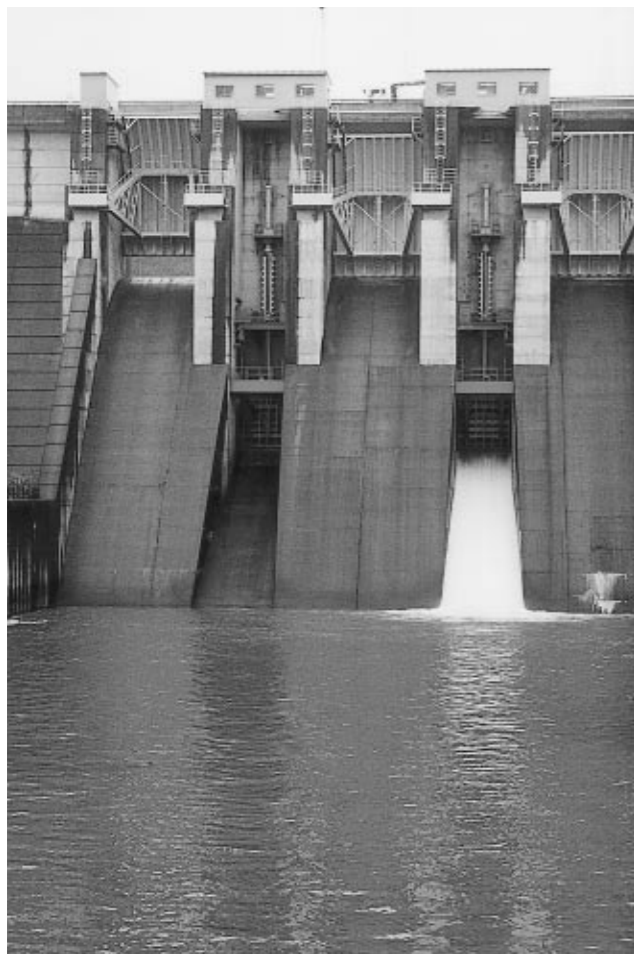
男性ボランティアグループ(甲田町)

立ち上げ、市場の求める農産物の生産体制づくりに努めます。

Q 男女共同参画社会の早期実現について。
A 国においては、男女共同参画社会の実現は、21世紀の最重要課題と位置づけられており、これを踏まえて県は、平成10年に参画プランを作成しました。平成13年には推進条例を制定し、県下の市町村に対し強力に推進しています。

本市と致しましては、建設計画に基づき、一日も早い男女共同参画社会の実現を目指して、最大級の努力を傾注しているところであります。

本年度は啓発の期間とし、平成17年度より2年間をかけて、参画プランを作成して参りたいと思います。



放流中の土師ダム(八千代町)

Q 今回の台風16、18号と2回続けて災害対策本部が設置されたが今後の課題については。また、災害によって生じたゴミの処理方法についてもっと住民の視点に立つての対応が必要だったのでは。また、支所、本庁の機



山本 優 議員

A 構に問題があったので。これだけの被害の中で水害が無いのは、土師ダムの効果が大きいと思う。認識を新たにしてもらいたい。

A 新市として初の事で、今後検討すべき課題ができました。この経験を参考にしていきたいと思います。

台風で生じたゴミの処理方法については、各支所と協議します。

支所、本所との機構の問題については、合併時に十分検討されているので現状で理解して欲しい。

土師ダムの効果は非常に大きいものがある。と認識しています。

吉田会派



富田 義弘 議員

Q 駅弁(株)と農協と市当加工センターの建設計画について。

1 3セク方式の経営に成功例が少ない中、慎重を期して計画することが大切であり、後世、市民につけ

A 市のリスクが伴うことがあってはならないので、よく研究します。これは駄目だという事が起こるかもしれない。議会の議決を得ないとできない話であり、これから協議と議論を深めて進めたいと考えています。

2 駅弁(株)の企業内容について調査をし

たのか。

A 大和町であった話で、大和町が断つたので県から安芸高田市に来た話を、取り込み計画中であり、大和町の話の中に駅弁(株)が指定されていたので、調査は今からです。

3 農協とのトップ会谈を持つているが、農協の回答は協力性があるのか。
A 今では農協の出資金限度は四百万円までで、農協がリスクを負うことはできません。役員も出さないと話で、これから協議していきま

4 工場用地はどこを考えているのか。



農畜産物加工処理施設予定地(八千代町)

A 八千代町の土師ダム下流に旧八千代町が持っていた土地利用を考えています。

5 吉田総合病院や中小企業の併当会社に影響のないよう考慮すべきだと思いが。そのようなことがあってはなりません。影響のないようにする努力が大切であると考えています。



松村ユキミ 議員

Q 各支所における指定金融機関の職員の常駐は。

A 現在、高田郡農協との協議により混雑が予想される日を想定し、職員の派遣をいただいております。今後も市民の皆さんの利便性の向上のためには、高田郡農協との協議を継続し、円滑な運営をめざし努力いたします。

ズについては、アンケート調査を行い現状を把握し、対策に努めます。

保育所では現在、平日は午前7時30分から午後6時30分、土曜日は午前7時30分から午後1時まで統一をして対応しております。



くるはら保育園（高宮町）

Q 自走式草刈機を購入しシルバー人材センター等に管理委託して、遊休農地の解消、河川敷の景観美化に努める考えは。

A 美しい農村の原風景を保持していくため、地域の皆さんと行政が共に汗をかきながら取り組む必要があるので、ご提案を含めて検討していきます。



山崎 昭弘 議員

と考えています。

Q 環境美化の取り組みについて、罰則をも含めた条例に改正して、景観保全の指導、取り組みはできないか。

A 調査及び指導、また勧告、命令という項目に終わっているため、罰則については今後、協議、検討していきます。

Q 田の畦畔・法面維持活動について、被覆植物（センチピートグラス）植付け維持管理を行うため、助成制度を採用して取り組んではどうか。

A 被覆植物について現在研究中国なので、今後も引き続き畦畔・法面維持活動の省力化に努めていきたい

Q 受動喫煙防止の取り組みはどのようなものか。

A 分煙や普及啓発活動の充実を図りたいと考えています。

Q ITと行政について、あらゆる情報を開示して市政提言制度の充実を図り市民が



実験中のセンチピートグラス風景（甲田町）

参加しやすいシステムにしては。
A 入札・契約等の情報公開制度の具体化を図るため、どの情報から開示するか関係部署と連携して進めていき

ます。市政提言制度については、プライバシーの保護等の問題もあり、貴重な提言をどのように市民の皆さんに返せるか検討していきたいと考えています。



高坂 広一 議員

Q 「地域課題を絶えず話し合うためのシステム」とは。

A それぞれの地域振興組織または、地域の中には諸々の課題があります。その課題を、自治懇談会・支所別懇談会という形で日常的に、一方で地域振興会の代表等をもって組織されたまちづくり委員会において議論され、状況によっては施策化、施策の形成に役立てていくというつながった形と理解しております。

Q 市民に対する情報公開は。

いろいろな状況があります。滞納整理の対策本部を設置し、段階的な措置を用い、納付書の通知、督促、催告状、警告状の発送をし、それぞれに応じた徴収に努めます。

A 情報公開並びに個人情報保護につきましては、行政運営のとても重要な事項であります。4月から個人情報保護条例を施行し、10月からは情報公開条例を施行します。

行政の持つている情報は、基本的に市民の皆さまの情報であるという観点を持ちながら、個人情報保護には十分配慮し、最善の方法を研修・検討していきます。



川角 一郎 議員



早期開通がもたれる原田吉田線印内地区（吉田町）

Q 県道原田吉田線の早期改良を。

A 県道原田吉田線は県の合併支援道路に位置付けられており、県も力を入れております。現在の整備状況は、実延長が、高宮・吉田管内を併せて約

9,500mあり、改良率は34.7%になっています。一番問題になっている山部から印内地区については、延長が590mのトンネルと決定されましたので、工事も早くできると思います。こ

れにより冬の積雪、あるいは凍結による事故も防げると思います。今後は、建設局吉田支局と十分連携をとりながら地元の方へ説明なり対応をします。

Q 台風18号による被害額と支援対策は。

A 被害額は、農業関係で特にビニールハウスが三、八〇〇万円、農作物の被害の合計が一億三、二〇〇万円となりました。県・JAと市で直ちに実態を調査して、技術指導を含めて指導等を行いました。特にハウス栽培の野菜出荷農家については、生産意欲の減退という状況が非常に多くみられ、復興のための支援策について、現在、JAと市で具体的な協議を進めています。早急に調整をして対応してまいります。

Q 町税・上下水・保育料・住宅資金等貸付金の滞納整理は。
A 公平性を保つためにも、厳格な対応が必要と考えます。しかし、各滞納の中にも



約100名が出席した支所別懇談会 8・25(美土里町)

美土里会派



等 龍岡 議員

Q 県は行政改革に伴う組織再編の一環として出先機関の統廃合を打ち出す中で本市における芸北地域事務所建設局の吉田支局、同じく高田地方農村整備事業所を廃止する方針を打ち出している。

A 現在、この動きはどう進展しているのか。廃止の場合の統合先はどうなるのか。

A 廃止による本市への影響とその対応を伺う。

A 県においては地方分権を推進するな



産業振興部が使用している芸北地域事務所吉田第2分庁舎

向原会派



世 剛小 議員

Q 10年間の財政推計に照らした次年度予算を。

A 地方交付税、国庫補助金は年々減少してくと推計して、行財政の改革に取り組み、財源を有効的に使用するよう予算編成を行います。

かて事務事業の権限委譲について市町村の意向を打診しながら行政組織・機構の見直しを検討しています。統合先については県も結論を出すに至っていないが、最終的には農林は可部、土木は広島になると考えられます。廃止による影響は大きいですが、県の動向を慎重に見極めながら分権の確立になるよう方策を考えていきます。実際に権限委譲ということになる、事務も増え、職員体制をはじめ、その受け皿づくりも大きな課題となりますが、権限の移行措置が適切に行われるよう努力してまいります。

Q 合併特例債の活用を再検討を。

A 当初計画をもとに実施計画を作り、十分な精査をし、ランニングコスト等も十分検討して実施します。

Q 三大プロジェクト（第二庁舎、文化ホール、葬斎場）について。

Q 自主財源確保のための具体的処方。市税の増収が一番と考えます。若者定住の環境を整え、人口増加を図ることだと考えます。

A 市民の期待も非常に大きい。あらゆる角度から精査して行います。

Q 定住人口の増大策は。

A 広島市、東広島市に隣接していますので、通勤圏内にあり、道路網の整備は急ぐ重大課題であります。通勤圏を広げて所得向上

を。それは自主財源確保を図るものと考えます。

Q 県道吉田豊栄線の早期改修整備は。国道375号線への接続と空港へのアクセスとして重要路線であり、早急に関係当局に強く要望していきます。

Q 向原駅周辺の整備は。

A 早期に取り組みます。当面、駐車場の整備と合わせて駅周辺のターミナルを中心とした総合的整備を図る考えです。



向原豊栄線谷坂付近(向原町)



学校訪問(高宮中学)



勸 鳴石 議員

Q 支所別懇談会の目的は何であったか。

A 合計800人余り参集いただきました。最初の試みで熱心に論議いただきました。今後とも、協働のまちづくりのため、懇談会での指摘を踏まえ改善をしていきます。

Q 文教常任委員会が市内小中学校を視察し、各校で施設整備を求められた。その後の対応は。

A 小学校13校、中学校4校で要望を受けています。小中学校職員室の冷房施設の設定が終わりました。施設及び環境整備は緊急性の高いものから進めています。

Q 安芸高田市の普通会計の決算概要は。

A 15年度決算概要では二五六億円で14年度と比較して一四億八、〇〇〇万円の増加。要因は投資的経費が八億九、〇〇〇万円の増加。旧町村の合併前の主要事業を計上した決算の状況です。(9ページに関連記事)

Q 「人権対策(同和)一般対策への移行」について、6月定例会にもこの件を発言した。地対財特法の失効後、国は一般対策に移行するよう方針を示した。児玉市長は依然として、旧態の同和行政をしている。市民の合意を得られないと思うが。

A 合併の法定協議会の合意事項に、順次一般対策に移行するという項がありますのでそのように進めます。

Q 安芸高田市の農業振興を図るため、広島駅弁と第3セクター(農産物加工処理施設)を設立する計画がされているが、性急すぎるのではないかと懸念する。

A この事業は、米が350トン、それに野菜・畜産物等の消費と雇用も100人以上あり、2分の1補助があります。

第3回臨時会

八千代浄化センター建設工事に8億7,500万円

安芸高田市第3回臨時会は、8月18日招集され、次のことが決まった。

施設の建設工事委託

合併に伴い特定環境保全公共下水道根幹的施設建設工事に関し、継続事業として基本協定を締結することについて議会の議決を求める。

目的

八千代浄化センター建設工事

事業費

8億7,500万円

協定先

日本下水道事業団

一般会計補正予算

《歳入》1,243万円(老人保健特別会計より繰り入れ)
《歳出》1,243万円(15年度医療費の精算に伴い予備費に計上)

特別会計補正予算

《老人保健特別会計》
《歳入》1,349万円(国・県等からの15年度分医療費の追加負担金等)
《歳出》1,349万円(15年度分医療費精算に伴い一般会計への繰り出し等)

ひとくちメモ

なぜ、再質問を制限するの？

当市議会では、会議規則において「質疑は、同一議員につき、同一の議題について3回を超えることができない。ただし、特に議長の許可を得たときは、この限りでない。」と定めていますが、質問も質疑と同様に、発言回数を制限しています。

理由は、重要な事件は委員会付託され、委員会で十分な審査が尽くされるという前提に立って、特定の議員が自由に、納得のいくまで無制限に質問をしては、他の議員の発言に影響を及ぼすだけでなく、会議の能率的な進行を妨げることにもなるので、これを防止するためです。

台風災害復旧に5,000万円

安芸高田市第4回臨時会は、10月26日
招集され、次のことが決まった。

相互救済事業経営の委託

安芸高田市は、毎年度予算で定める経費を支弁して、その所有または占有に属する財産で必要なものの火災その他の災害による損害に対する相互救済事業を、財団法人全国自治協会に委託することができるもの。

工事請負契約の締結について

次のとおり工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの。

1. 契約目的
向井原地区農業集落排水資源循環統合補助事業浄化センター建設工事
2. 契約方法 指名競争入札
3. 契約金額 299,250,000 円
4. 契約の相手方
広島市中区上八丁堀 4-1
五洋建設株式会社 中国支店
支店長 村重芳雄

一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,802万円を追加し、予算の総額を260億6,580万円とする。

歳出の主なものは、台風被害による施設等の修繕に関わるものと、議員報酬等の改定に伴うものである。

それらに必要な財源7,802万円のうち5,140万円は財政調整基金より繰り出され、基金の残高は、5億4,600万円となり厳しい財政状況となっている。

《歳入》	《歳出》
県補助金 881万円	議会に関する費用 2,737万円
基金繰入金 5,140万円	台風災害復旧に関する費用 5,065万円
市債 720万円	
その他(雑入等) 1,062万円	



第4回臨時会 於 吉田公民館

傍聴記

私はこう思う

各町1名の方にご意見・ご感想をいただきました。

議員に緊張感を...

美土里町 津田寿司さん

- ①議員の質問者の少ないことに驚きを感じている。市民の代弁者としての思いがない。(特に十一月には市議選も控えている状況からすれば、淋しい限りだ) 議員として市政へもっと活発な発言を望みたい。
- ②質問が前回と重複している感じで残念に思う。市政への取り組みと熱意が見えてこない。
- ③傍聴者が20名余りなのに12時で再質問の答弁を打ち切りとは残念である。もっと、市民の立場で議会運営できないものか。
- ④児玉市長の答弁は丁

寧で分かりやすく好感が持てた。

新議事堂での 厳粛な議事を期待

八千代町 山田康子さん

2回目の市議会を傍聴させていただきました。市議会議場は、公民館で、しかも議員数の多い関係か、緊張感が薄く感じられました。

議員の様々な質問に対し、市長は的確に答弁され議会の流れの良さに満足しました。

来年度より民営化されようとしている郵政公社の意見書についても、住民福祉を考慮した内容なので安堵しました。

我々市民は、市政に関心をもって、今後の市政に明るい未来があることを願っています。

高い見識と深い 郷土愛に期待

高宮町 三戸秀世さん

一般質問の内容は50%以上が既に議会広報等で報告されたものの、テレビ新聞等で報道されている課題を投げかけるのみで、これに対応される市執行部職員の方も、既にご承知のほずという態度が見え隠れし、市民のため、磐石の基礎を築くという緊張感に欠けていると感じたのは私だけでしょうか。9月定

例会2日目のみの傍聴で、大変失礼と思いますが、私の素直な気持ちを述べさせていただきました。議員の方の日頃培われた高い見識と深い郷土愛に期待しています。

新市の行財政 改革に期待

甲田町 福本忠義さん

合併後、初めての議会傍聴に関して感想等を述べさせていただきました。議事堂が狭いこともあり、議員数の多さを感じました。議員数に対して質問者が少ない。合併後で落ち着かないせいもあったのかもしれない。厳しい財政時、議論を重ね、英知を結集し、行財政改革を徹底して、市民が安心して暮らせる市、「人・輝く・安芸高田市」を目指して努力していただくよう期待したい。

例え、初日の傍聴で、大変失礼と思いますが、私の素直な気持ちを述べさせていただきました。議員の方の日頃培われた高い見識と深い郷土愛に期待しています。

教育問題に期待

向原町 恵川玉枝さん

一般質問の初日、向原白バラ会員7名で傍聴に参加。質問内容の資料は、以後の検討材料としても有効でした。沢山の議事の中で、中高一貫教育についての質問に対して、教育長から、小中高校長が考えている。また、市内の中高生が他へ通学しなくてもよい方策も考えているとの、力強い答弁を聞き、胸の膨らむ思いがしました。

今、教育の問題は最も大切だと思います。希望の持てる方策を期待しています。

3日間に わたったの傍聴

吉田町 井上光男さん

20名の議員が、新市発足に伴う各分野から

お詫び

第2号傍聴記

24ページ3段目

《誤》 大隈邦子さん
《正》 大隅邦子さん

謹んで訂正し、お詫び申し上げます。

※原文のまま掲載させていただきます。

吉田 えのみや **埃ノ宮神社神祇**

伝統継承の一役を担い、古式豊かに舞い熱氣溢れる可愛地区の少年少女たち。



八千代 **八千代町上根の分水嶺**

全国の分水嶺の中で、集落の中にこれがある例は極めて珍しい。



文化資源で人が輝き地域活動が沸く！

美土里 収穫したもち米で **11月2日にもちつき会**

美土里小3年生が稲刈体験で、はで干し。



高宮 **第32回高宮神楽まつり**

伝統技 華麗な舞に3千人が酔う 於 高宮ハーモニー広場《10/9(土)》
町内6神楽団に加え、吉田町高猿神楽団が特別出演。



甲田 **楽しいグランドゴルフ大会**
《10/24(日)》



向原 **向原町敬老会**《9/11(土)》

こぼと園の園児の合唱や、長田明神一座の田舎芝居で楽しく過ごされました。



編集後記

酷暑の夏、大型台風の連続上陸、豪雨と大地震の多発、火山の噴火等、全てが記録づくめの異常気象の1年であった。

新市の行政執行は、まずは平穩に流れており、この先は、異常気象的な動向は絶対に避けなければならぬ。

第3回定例会を9月30日に終え、また、10月26日開催の第4回臨時会は、台風災害復旧費五、〇〇〇万円等を可決し閉会した。議員在任特例は11月30日での任を終える。

現議会広報委員による「あきたかた議会だより」は本編3号で終わる。新議員による円滑な議会運営、更に「議会だより」第4号からの継続発行を期待します。

《議会広報特別委員会》

- ◎宮田 浩之 長岡公次郎
- 松村ユキミ 三上タエ子
- 中間 末雄 新出 達夫
- 山崎 宅将 小野 剛世
- 入本 和男 山口 康文
- 川崎三千春 土居 克之

●次の定例会は12月中旬の予定です。お気軽に傍聴してください。
お問い合わせは議会事務局(☎0826-42-5621・有線2607-03)までお願いします。